

平成 28 年度 第 4 回

宍粟市教育委員会

# 会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 28 年 7 月 22 日 午後 2 時 30 分から

場所 宍粟市役所 502 会議室

## 第4回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### 1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成28年7月22日（金） 午後2時30分 ～ 午後3時18分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 503会議室

### 2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	杉本健三	委員
	弓削ルリコ	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

前田正人	教育部次長	橋本 徹	教育総務課長
山本哲史	学校教育課長	中尾善弘	こども未来課長
田路正幸	社会教育文化財課長	大前和浩	学校給食センター所長
中尾美恵子	教育総務課副課長	樽本勝弘	市民協働課長
富田健次	次長兼人権推進課長		

### 3 開会

西岡教育長が開会した。

### 4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

### 5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

前田委員

### 6 前回会議録の承認

平成28年度第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、橋本教育総務課長が説明し、承認された。

### 7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

(1) 幼稚園・小学校・中学校の終業式について

7月20日に市内7中学校、13小学校、11幼稚園の1学期の終業式が行われ、小学1年生は初めての通信簿を受け取った。

## (2) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

一宮南地区の学校規模適正化については、第6回協議会が6月15日に開催され、28年度協議会委員及び専門部会の委員構成等を決定した。7月14日には正副会長会が開催され、適正化に向けた学校プール等の施設の改修予定や学校交流事業の状況等について報告協議いただいた。8月上旬には、校章デザインの第1次選考のための総務部会が開催される予定である。

幼保一元化については、一宮北地区については、7月12日に第1回協議会を開催し、協議会委員の委嘱、協議会会長の選考を行うとともに、今後の進め方等について協議いただいた。波賀地区については、7月26日に第11回地域の委員会を開催する予定である。一宮南、山崎南（戸原地区）の各地域の委員会開催に向けて関係団体と調整している。

## (3) 工事の進捗状況について

都多小学校校舎耐震補強工事について、6月30日に入札が行われ、業者が決定し、7月4日から9月30日の工期で施工することになっている。

教育用タブレットパソコン・大型モニター購入について、市内11小学校へ教育用タブレットパソコン及び大型モニターを導入する入札を行った結果、業者が決定し、6月議会で議決された。10月31日までに各小学校に納入される予定である。

千種 B&G 海洋センタープール新築工事について、7月4日に竣工式を行い、市民に利用いただいております。好評である。7月24日にはシドニーオリンピック銀メダリストを招き、オープニングイベントを開催する予定である。

## 8 協議報告事項

### (1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化について橋本教育総務課長が、幼保一元化について中尾こども未来課長が報告した。

### (2) 学校施設整備工事概要について

資料2「都多小学校校舎耐震補強工事概要」により、橋本教育総務課長が報告した。

### (3) 通学路交通安全推進協議会の協議状況について

6月29日に開催した通学路交通安全推進協議会における通学路の安全対策にかかる関係機関との協議状況を橋本教育総務課長が報告した。

### (4) ALTの配置予定（28年7・8月～）について

資料3「平成28年度7・8月期～宍粟市ALT配置校名簿（新規・継続）」により、橋本教育総務課長が報告した。

### (5) 28年度人権教育講演会について

資料4「平成28年度宍粟市人権教育講演会実施要項」により、山本学校教育課長が報告した。

### (6) 28年度スクイム市派遣事業について

資料 5「平成 28 年度宍粟市国際理解交流活動スクイム市派遣事業スケジュール」及び「平成 28 年度スクイム市派遣者名簿」により、山本学校教育課長が報告した。

**(7) 数学・理科甲子園ジュニア 2016 について**

資料 6「数学・理科甲子園ジュニア 2016 実施要項」により、山本学校教育課長が報告した。

**(8) 新学習指導要領の円滑な実施に向けた英語教育充実事業について**

資料 7「新学習指導要領の円滑な実施に向けた英語教育充実事業」により、山本学校教育課長が報告した。

**(9) 2016 兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会について**

資料 8「第 63 回【2016 年度】兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会開催要項」により、田路社会教育文化財課長が報告した。

**(10) 社会教育振興計画の策定スケジュールについて**

資料 9「宍粟市社会教育振興計画総合点検・評価スケジュール」により、田路社会教育文化財課長が報告した。

**(11) 学校給食への異物混入の状況・給食センター職員研修の取組みについて**

資料 10「平成 28 年度学校給食センター異物混入状況及び対策」及び「平成 28 年度学校給食センター衛生管理研修実施要領」により、大前学校給食センター所長が報告した。

**(12) 千種 B & G 海洋センタープール竣工・オープニングセレモニーについて**

資料 11「宍粟市千種 B & G 海洋センター新築工事業概要」及び「宍粟市千種 B & G 海洋センターオープニング(予定)」により、また、8 月 7 日に開催予定の「泥んこ de がんバレー大会」の参加チーム数等を樽本市民協働課長が報告した。

**(13) 人権文化をすすめる市民運動推進月間事業について**

資料 12「人権講演会」により、富田次長兼人権推進課長が報告した。

**委員の主な意見及び事務局等の説明**

(前田委員)

ちくさ杉の子こども園運営協議会のメンバーはどんな構成か。メンバーの入れ替わりはあるのか。

(こども未来課長)

運営協議会のメンバーは、宍粟市認定こども園認定ガイドラインにより、運営主体、保護者の代表、地域の代表、市の 4 者 13 名で構成している。こども園を社会福祉法人に委ねるにあたり、教育委員会から職員が理事として参加し、園運営については保護者会、地域、市も入り、しっかり確認していくことにしている。社会福祉法人と市が協定書を結び、この協定書に基づき、運営協議会を設置しており、こども園が存する間は、運営協議会も続いていくことになる。保護者や地域の代表などは年度により入れ替わりがあるので、委員メンバーは替わることになる。

(弓削委員)

スクイム市への派遣は各中学校に1人はいるようだが、希望者を募り派遣しているのか。

(前田委員)

生徒1人当たりの派遣費用はどのくらい負担するのか。

(学校教育課長)

スクイム市派遣生徒は募集を行い、複数名の応募がある中、選考により決定しており、各校から1名は選考することとしている。

1人当たりの派遣費用のうち、約半分を市が負担している。生徒1人にかかる費用として残り半分の13万円程度を負担いただいている。費用は25万円程度で、その約半分を市が負担している。

(前田委員)

数学・理科甲子園ジュニアのことは初めて聞いたが、今年のはじめての参加となるのか。

(西岡教育長)

今年の実栗市からの参加チームは何チームだったか、教えてほしい。

(学校教育課長)

平成25年度から文部科学省が「科学の甲子園ジュニア全国大会」を実施しており、その県予選として、兵庫県が「数学・理科甲子園ジュニア」を開催している。毎年参加チーム数は違うが、実栗市からも参加している。兵庫県教育委員会では、最大60チーム募集しており、今年度実栗市からは3チーム参加する。これまでの最高順位としては、平成26年度に4位という成績であった。

今年度は、市内中学校から9チームの県大会への出場希望がある中、市予選会を勝ち抜いた3チームが参加することになっている。

(前田委員)

資料10中、「給食センターの配缶から学校での配膳までの間に混入したと考えられる」と記載されているが、食缶とはどのようなものか。また、移動中に蓋があくようなものか。

(学校給食センター所長)

食缶は深い蓋付きのものであり、配送は食缶をコンテナに積み込み、学校の給食室でコンテナを下ろし、そこから食缶を各教室へ運び配膳することになる。食缶の蓋は移動中に開くようなものではなく、給食センター内で蓋をするまで、または、学校で食缶から配膳するまでの間に虫が混入したのではないかと考えられる。給食センターでは、衛生管理には十分気をつけているが、時々小さい虫が飛んでいることがあり、その場合は、すぐに除去する対策をとっている。

## 9 次回会議の招集について

平成28年8月19日(金)午前9時30分から開催すると決定した。

## 10 閉会

杉本委員が閉会した。

以上 午後3時18分終了